

第167回 汽水域懇談会

水生真菌類と子囊菌門ビョウタケ目Tricladaceaeにおける
分類学的研究

板垣ひより 博士

埼玉県立川の博物館

日時:2025年 10月31日(金) 16:00-17:00

場所:ハイブリッド開催

(エスチュアリー研究センター2階セミナー室 とオンライン)

参加希望者は以下に登録をお願いします。

(10/29(水) 正午締切)

<https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/kisui167>

【講演概要】

河川源流域を溪流沿いに散策していると、岩陰の澱みなど水の流れが緩慢になった場所に浮遊する、黄色～白色の泡の塊を目にすることがある。こうした光景には、下流域で見られる農業排水や生活排水による下水汚染のイメージを抱きやすいが、この水泡を一滴プレパラートに落として顕微鏡をのぞいてみてほしい。珪藻などの藻類とともに水生菌類(aquatic hyphomycetes)の不思議な分生子を見ることができるだろう。

水生菌類は、水辺や水中の落葉や落枝などを分解して生活しており、水圏生態系における有機物の循環に重要な役割を担っている。分生子の形態は三次元的で(四射形やシグモイド形など)、溪流で生じる水泡に吸着しやすく、水中での分散に適していると考えられる。分生子の形態は水環境における収斂の結果であることが示唆され、多くの分類群で多系統性が指摘されている。しかし、不完全菌類の多くは分子情報が不足しているため、系統分類学的な所属が明らかになっていない。本講演では、プランクトンとしての側面を持つ水生菌類の生態とともに、一分類群として知られる子囊菌門ビョウタケ目Tricladaceaeの探索と分類学的な研究について紹介する。

